

みみちゃんの 学校がっこう

みみずくの みみちゃんの 学校がっこうは、夕方ゆうがたになると 「おはよう」と、たくさんの みみずくたちが あつまって くる 夜よるの 学校がっこうです。

みみちゃんは、きのう 入学にゅうがくしたばかりです。

「一人ひとりで 学校がっこうに 行いけるかな。」

となりの おうちに すんで いる ブークくんしんに、心しんばいそうに たずねました。

「よし、それじゃあ、今日きょうは、ぼくが いっしょに 学校がっこうに 行いって あげるよ。」

二人ふたりは、小川おがわの ほとりに やって きました。



「みみちゃん、おはよう。どこに 行くの。」

ほたるの おばさんが たずねました。

「みみずくの 学校に 行くの。」

「そう、気をつけて 行ってね。」

ほたるの おばさんは、おしりの 光を ともして 二人を 見おく

って くれました。

しばらく 行くと、たぬきの おじさんが ゆっくり に車を ひいて いました。

「たぬきの おじさん、おはようございます。何を して いるの。」

「みみちゃん、おはよう。学校に 野さいを はこんで いるんだよ。」

みみちゃんたちの ために、おいしい きゅう食を 作るからね。」

たぬきの おじさんは 手を ふって、二人を 見おくらせて くれました。



もうすぐ 学校がっこうに つきます。山ねやまこの しゅじさんが、はたを もつて 立たって いるのが 見みえました。

「みみちゃん、おはよう。」

山ねやまこの しゅじさんは、にっこりと わらって 声こえを かけて くれました。

やっと 学校がっこうに つきました。校門こうもんの ところに、校長先生こうちょうせんせいが 立たっ

て いました。

「校長先生こうちょうせんせい、おはようございます。」

「みみちゃん、おはよう。よく 来きたね。がんばったね。」

校長先生こうちょうせんせいが ほめて くれました。

子どもたちが いつのまにか あつまり、にぎやかに なりました。

「やあ、ズークくん。おはよう。」

「みみちゃん、もう 一年生いちねんせいね。わたしたち、まって いたわよ。」



お兄さんや お姉さんたちが、にこにこしながら 言いました。

先生が、

「みなさん、今日は 音楽しゅう会です。みみずくの 学校の 校歌を
歌いましょう。」

と 言いました。

子どもたちは、元氣よく 校歌を 歌って います。ズークくんも、
口を 大きく あけて 歌って います。みみちゃんの たんにんの
先生や、クラスの お友だちも いっしょです。

きゅう食堂からは、いいにおいが しはじめました。みみちゃんも に
こにこしながら、みんなと おぼえたばかりの 校歌を 歌いました。

(北村 博 作) (橋本 ひろみ 改編)

